

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020201040400		事業の種類	4
年度	23	事務事業名	生きがい交流センター管理運営事業	予算事業名	重要度
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	小西 まこと
取組み事項		地域福祉活動の拠点の利用促進を図る		担当者名	森川 拓平
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定
				無	無
根拠法規及び関連法規		相生市生きがい交流センターの設置及び管理に関する条例 相生市高齢者生きがいと健康づくり推進事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者			
	誰(何)を対象として	生きがいと健康づくり			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の文化的活動のための場の提供と高齢者の教養と健康づくりのためのセミナー開催。			
事業の全体年度		事業着手年度	(年度)	事業完了予定年度	(年度)

2 事業の概要 Do

実施の概要		<ul style="list-style-type: none"> 市民の文化的活動の場の提供 各種セミナーの開催 				
活動実績	項目	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度計画
	一般利用者数	人	16,472	16,655	17,521	18,000
	生きがいセミナー出席者	人	4,116	3,784	3,662	3,800

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		21年度決算	22年度決算	前年比	23年度決算	前年比	24年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.025	0.026	104	0.024	92	0.026	108	
	参事以下職員	0.089	0.089	100	0.060	67	0.076	127	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	930,582	934,260	100	789,084	84	917,220	116	
	事業費	7,442,593	8,037,475	108	8,687,919	108	8,522,000	98	
	合計	8,373,175	8,971,735	107	9,477,003	106	9,439,220	100	
財源内訳	国庫支出金			-	0	-	0	-	
	県支出金			-	0	-	0	-	
	市債			-	0	-	0	-	
	その他			-	0	-	0	-	
	一般財源	8,373,175	8,971,735	107	9,477,003	106	9,439,220	100	
合計	8,373,175	8,971,735	107	9,477,003	106	9,439,220	100		

※ 事業の進捗状況

項目		21年度	22年度	23年度	24年度	/
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

4 評価指標

【有効性】

指標名1		一般利用者数							
指標説明(式)		一般利用者数							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
人	目標	18,000	17,500	97.2	17,000	97.1	18,000	105.9	
	実績	16,472	16,655	101.1	17,521	105.2			
指標名2		生きがいセミナー出席者数							
指標説明(式)		生きがいセミナー出席者数							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
人	目標	4,500	4,500	100.0	4,000	88.9	3,800	95.0	
	実績	4,075	3,784	92.9	3,662	96.8			

【効率性】

指標名1		利用者一人あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費/利用人数(一般利用者+生きがいセミナー出席者数)							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-	392	-	430	109.7	
	実績	339	370	109.1	410	110.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(23年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	老人福祉センターの機能を移管した施設であり、市民の教養の向上と健康の増進の機能を果たしている。	4
	市民ニーズ	規模的に見て年間利用者数は多く、また、多種多様なセミナーの講座があり市民のニーズは高い。	
有効性	市民サービス	多種の講座により、利用者ニーズにあった受講が可能であり、教養の向上と健康の増進、また閉じこもりの防止にも貢献している。	4
効率性	コストの節減	指定管理者制度の導入により、低コストで高サービスの運営に努めている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

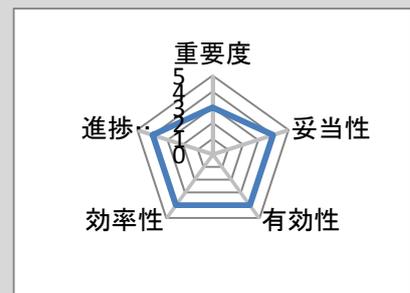
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	高齢者の望む講座の開設

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた24年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	高齢者の生きがいとなりうる講座の開設のため、適宜見直しを図っていく。



配点	32.5
総合評価	24